



紺碧

調布稲門会 会報

2018.1 第47号

年2回(1月、6月)発行

事務局 〒182-0022

調布市国領町 7-56-14

Fax 042-489-6507

E-mail toumonkai@gmail.com

URL (HP) <http://chofu-tomon.jimdo.com/>

編集責任者 高原浩 柵木真也



国際交流特集 「語ろうアースカフェ」新企画続々、聴講者延べ1,000人超す

調布稲門会の国際交流活動ますます活性化

わがまち調布、23万人都市を舞台にした国際交流が飛躍的に進展しようとしています。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた新競技場も市内に誕生、国際競技大会が目白押し。調布稲門会はそんなトレンドを体現した国際交流活動に力を入れています。「語ろうアースカフェ」(代表山田和子=副会長、昭49文)をはじめとする同好会活動を通じてその活況ぶりをご紹介します。多くの会員の参加で国際交流の輪をさらに大きく広げましょう。(編集部) 冒頭の合成写真は五十嵐真会員制作

若い留学生との出会いから素晴らしいドラマが

語ろうアースカフェ代表 山田 和子

—留学生が自国の現在、未来を語る市民講座誕生—

人との偶然の出会いで素晴らしいドラマが始まる場合があります。「語ろうアースカフェ」もそのような出会いから始まりました。ウズベキスタンからの留学生マシフラさんとの出会いです。

2011年5月の調布稲門会総会で、「食・歩会」(現

女性の会)は東日本大震災被災者支援募金に、どら焼きなど手作りのお菓子を販売することにしていました。家でどら焼きを試作中、娘がどら焼きに興味のある留学生の友人、マシフラさんを連れてきました。手伝ってもらいながら、彼女の外国人とは思わせない流暢な日本語、それにも増して会話の中に溢れた相手を気遣うさりげない言葉に彼女の温かい人柄を感じ、瞬間に魅了されてしまいました。

私個人として、夫の赴任に伴い、幼い娘たちを抱えての5年間の英国生活を通じ、また帰国後はホームステイなどで受け入れてきた優秀な留学生たちとの触れ合いで培ってきたものがあり、彼らと日本人との交流の少ない現実を残念に思っていました。当時、調布稲門会は年齢の高い層が多く、年々会員が減少していく問題を抱えており、会の活性化のために私に取り組めることは何かを模索していた時期のマシフラさんとの出会いでした。

そして遂に国の将来を担っていく若い留学生たちに文化、政治、経済など自国の現在と未来を、彼らの目を通して語ってもらった講座の構想が浮かびました。「語ろうアースカフェ」の誕生です。関口憲三、野村大也、山本建治、涌田みちるの4氏と私の5人で発足させました。具体的には1カ国につき講義4回(各2時間)の市民講座です。

語ろうアースカフェ 活動実績と今後の予定

- ① ウズベキスタン講座 2013年10月～2014年7月(6回)
- ② ウズベキスタン旅行 2014年8月
- ③ ミャンマー講座 2014年10月～2015年2月(4回)
- ④ ミャンマー旅行 2015年3月
- ⑤ スウェーデン講座 2015年10月～2016年2月(4回)
- ⑥ スウェーデン旅行 2016年6月
- ⑦ エストニア講座 2016年10月～2017年2月(4回)
- ⑧ 中央アジアの食文化 2017年5月～7月(3回)
- ⑨ エストニア旅行 2017年6月
- ⑩ タイ講座 2017年10月～2018年2月(4回)
- ⑪ (予定)ロシアの食文化 2018年5月～6月(3回)
- ⑫ (予定)ブラジル講座 2018年10月～2019年2月(4回)
- ⑬ (予定)タイ旅行 2018年12月

一講義後にその国への旅行も人気、世界食文化講座も始動一

2013年10月からの初回企画「マシフラさんのウズベキスタン講座」は大成功。講座聴講者10人とウズベキスタン旅行にも出かけました。その後、ミャンマー、スウェーデン、エストニアと、旅行も含め繋がりが、現在、タイ講座が進行中です。(上記表参照)

2017年度新たに「世界の食文化講座」が加わり、「中央アジアの食文化講座」を開催しました。会員、

一般の聴講者を含め毎回40人前後の参加者が熱心に聴講しています。外部団体と共催で行った食文化講座は80人もの聴講者があり驚きでした。現在、参加登録者は約200人、当初からの延べ聴講者数は1,000人超えを達成しました。

講座を通じ調布を中心に繋がりの輪が広がっています。早大生がエストニア講座聴講をきっかけにエストニア留学を決意したという嬉しいニュースも入ってきました。今後は多摩地区の校友会との共催も視野に入れ、活動を広げていくつもりです。

国際交流特集

Bor・n(ボーン)の国際交流

同好会 ボランティア・ネットワーク Bor・n

代表 坊野 美代子(昭53教育)



ボランティア・ネットワーク Bor・n が活動を始めてから、今年で3年目となりました。この間、調布稲門会の会員の皆さんに、様々なボランティア体験に参加して頂いたことは、大変嬉しく、心より感謝致します。

恒例のボランティア活動の一つに、「国際交流」があります。調布特別支援学校の子供たちのために、電気通信大学等の留学生が母国の紹介とオリジナルゲームで楽しませてくれるというイベントです。1年に1度だけの機会ですが、4カ国の留学生(参加国は毎年変わります)と子供たちが、土曜日の午後に調布特別支援学校の体育館で交流しています。(写真)

ボランティアとしてイベントを手伝いながら、子供たちの楽しむ姿に元気をもらい、各国の留学生の熱意に打たれ……。逆に良いお土産をもらって帰ることができる!

Bor・nはそんな活動を年4回ほど行っています。今年は皆さんも参加してみませんか?

福祉バザー**年末福祉バザー健闘、2017年も寄付額上位3傑入り**

編集部 高原 浩（昭44法）



調布稲門会が重点年間行事としている地域貢献活動「調布市福祉まつり バザー」に今年(2017年)も大勢の会員らが参加しました。12月2日(土)の物品の値付け作業、3日(日)のバザーと2日間にわたって延べ50人余が人海戦術で対応しました。

今回はバザーのコンセプトを一部変更、衛生管理上の配慮から調布稲門会名物「手作り餃子」の出店を見合わせました。景気全体が勢いを欠く中で今回の餃子販売見合わせなどが響いて、売り上げは過去最高の前年よりやや減少。それでも主催者、調布市社会福祉協議会への寄付額は、全体で第3位(前年と同じ)の26万1,477円と、高水準を維持できました。12月6日にバザーをリードした山田和子副会長と、会計の坊野美代子幹事が社協に出向き寄付をしました。

バザーは調布市役所前広場で開かれ、早慶明などの地元校友会を含む約65の団体が2日(土)と3日(日)に分かれて参加。会場は色とりどりの幟や旗がはためき舞台では歌や舞踊の演技なども催され、いつもながらの賑やかで華やかな雰囲気でした。2日の値付け作業には例年、作業の会場としてお世話になっている爽爽荘(飛田給、特養老人ホーム)に24人、3日のバザー販売には29人が集合、今回も女性陣の活躍が目立ちました。2日間にわたっていい汗をかき、参加者はそれぞれ達成感を味わったようです。

山田副会長は「多くの品物を提供して頂いた方々、ステーション、値付け、販売に携わって頂いた方々、皆様のお蔭で多額の寄付ができました。厚くお礼申し上げます」と感謝の言葉を述べています。

会長新年挨拶

今年は大イベント、「東京三多摩支部大会」を主管

会長 岡田 文男（昭49理工）



新年あけましておめでとうございます。会員、準会員の皆様にはお元気で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年5月の総会で、調布稲門会会長の重任を仰せつかり、就任以来7カ月余、幹事はじめ会員、準会員の皆様のご支援を受け、何とか勤めさせて頂いております。今年の前半に計画していましたイベントは、無事完了することができ、皆様のご協力に感謝申し上げます。特に去る12月3日の調布市福祉まつりのバザーでは、26万1,477円を調布市社会福祉協議会に寄付することができ、バザーへの品々を寄付して頂いた方々、バザーを手伝って頂いた方々、皆様のご協力ご支援を心よりお礼申し上げます。

さて2018年のビッグイベントは2月から3月にかけて韓国の平昌(ピョンチャン)で開催される冬季オリパラ、そして6月のFIFA W杯ロシア大会です。日本選手の活躍に期待しています。2019年にはラグビーW杯、2020年には東京オリパラと調布市においてもビッグイベントが目白押しです。私たち調布稲門会にとって2018年のビッグイベントは、10月27日に大隈記念講堂で開催する予定の「東京三多摩支部大会」です。三多摩地区の26稲門会で組織する「東京三多摩支部」の主管幹事稲門会として、町田稲門会とともに運営致します。

調布稲門会が主管する大会は、1985年に深大寺客殿で実施して以来のことです。芦沢友雄幹事長を中心に企画・立案の作業がスタートしています。

本年も昨年以上になお一層のご支援、ご指導のほど、お願い致します。新年のご挨拶とさせていただきます。

観月会**調布駅前の賑わいの中、観月会に47人が集う**

編集部 高原 浩

2017年10月1日(日)夕刻、秋の恒例懇親会「観月会」を調布駅前の中華レストラン「渝園」で開催しました。駅前には新しい商業施設群「トリエ京王調布」がオープンしたばかり。その最初の日曜日とあって周囲は大変な賑わいの中、会員中心に47人が参集しました。



4日の中秋の名月にはやや早いものの、夕暮れの空には「十日夜の月(とおかんやのつき)」がぼっかりと浮かぶ観月会の名に相応しい日和。会場では5つの大円卓に次々と運ばれる料理と酒を楽しみながら和気あいあいの談笑が続けられました。

飲食の合間には松野宏会員がお得意の英語話術を交えながらオカリナを演奏して場を盛り上げました。この日出席した新入会員2人やタイからの留学生、調布在住の在校生親子の自己紹介、三多摩地区大会・早稲田祭・福祉バザーなど重要イベントや同好会活動の紹介などもあり、調布稲門会の盛んな活動ぶりを出席者にアピールしました。宴は2時間半におよび、午後7時に全員で校歌斉唱、記念撮影をしてお開きとなりました。(以下出席者)

明石純一、芦沢友雄、五十嵐健、五十嵐真、石倉毅、石田欽也、潮田健太郎、宇野良子、小笠原忠八郎、岡田文男、金子慎吾、神谷博、河野瑠美、齊藤宗之、椎原大典、柴多和夫、嶋田浩一、関口憲三、高原浩、坪井貞光、中野完二、中野慶子、濁川寿次、萩原稔、舟久保賢一、坊野美代子、堀龍之介、堀井時枝、堀内正之、松野宏、松村啓之亮、松村葉子、宮本正章、村上勉、元木勇、森本祐幸、安松董矩、山崎正昭、山田和子、山田啓文、山田佐和子、山本信行、山本あおい、山本瞳、涌田みちる、和久田豊、ウィーパーウィークン・クリッターポン

キテネに来てね! 2017 活動報告**築地・豊洲見学/秋の早慶戦/芋煮会**

キテネ担当幹事 松野 宏(昭43教育)

2015年スタートの調布稲門会特別イベント企画「キテネ」シリーズは佳境の3年目に入り、2017年度は「築地・豊洲見学」「秋の早慶戦」「野川クリーン作戦と芋煮会」の3本立てで実施しました。今回はその模様をお伝えします。そしてもっと面白いものをとさらに知恵を絞っていますが、2018年2月には「AEDの実地訓練ほか」(7ページにご案内)を予定、これは関心と呼ぶのではと自負しています。

社会科学見学：築地から誰も知らない豊洲市場と周辺を散策

【7月22日(土)】

2017年度企画第1回は「タイムリーかつ話題性」のキテネのコンセプトそのままにこのタイトルで実施しました。当日は朝から快晴。男性11人、女性6人の計17人が参加。連日熱中症の警戒が報じられる中、「救急車の伴走も？」の冗談も現実味を帯びたスタートでした。

築地では築地が初めてという人もいて、セリが終わった場内やお寿司屋さんがびっしり並ぶ場外と歩きましたが、一帯は外国人観光客などで混雑。キテネでは全員を3班に分けて各々にリーダーがついていくことにしました。そしてお昼、築地といえばお寿司です。その美味しかったこと、さらに美味しかったのは冷たい生ビール。汗、汗の中、それはもう最高でした。

そして豊洲市場へ。



築地からの距離は3.5km。難関は「晴海大橋」、長さ580m、海面からの高さ24m、ビル7階建て相当です。バスの運行がないので徒歩で渡るしかありません。なぜ難関というかといえば、橋の半分までかなりな勾配があり、照り付ける太陽の下、これを渡り切らないことにはどうしようもないことでした。幸い全員が無事渡り橋の上からの絶景に感嘆。遠くにレインボウブリッジが望め海風も心地よく最高でした。豊洲市場周辺は空き地が散在し、われわれのように見に来る人もほとんどいません。ただ建物の外観、配置や規模を見てその巨大さに圧倒されました。ここが後年、繁華になるとは想像もつきません。「いい勉強になった」との声が聞かれました。

(参加者) 明石純一、芦沢友雄、猪狩俊子、石井宏和、石倉毅、石倉恵子、潮田健太郎、潮田京子、岡田文男、齋藤宗之、坪井貞光夫妻、中野慶子、濁川寿次、濁川マサ、松野宏、村上勉

早慶戦の応援、頑張りましたが・・・[10月28日(土)]



キテネの秋、秋といえば早慶戦。参加者7人で観戦に行きました。台風22号の接近を前にして空模様も、早慶の応援席も落ち着かない雲行きの中で開催されました。1 昨年の早慶戦も7人。今回も卒業以来50年で初めてという人がいて「キテネのお蔭です」と喜んでいました。今回の試合の特徴は慶応は優勝、早稲田は最下位転落が掛かり、どちらも大学の名誉にかけて負けられないという点。それだけに応援も必死、我々も学生応援席の最前列に席を与えられ、普段ではありえない声を張り上げました。

慶応2対1でリードの時、雨が激しくなり、5回降雨コールドかと早合点して席を立ちました。実際には試合は9回まで行われ2対1で慶応の勝ち。帰りはお決まりの2次会に直行です。土砂降りの中にあ

ってもこれだけは例え槍が降っても行きます。酔うほどに試合のことはそっちのけで懇親に励みました。

(参加者) 五十嵐眞、宇野由美、宇野良子、岡田文男、齋藤宗之、松野宏、森本祐幸

野川クリーン作戦、そして芋煮会を楽しむ

[11月25日(土)]



調布市を流れる多摩川と野川、毎年調布市が両川でクリーン作戦を展開して市民に協力を呼びかけていますが、今年も調布稲門会からボランティア参加しました。そのうち野川には11月25日(土)に市内在住の昭和44年から62年卒業の校友を芋煮会がらみでお誘いし、5人に参加して頂きました。

調布市佐須町にカニ山という里山があり、会場はもちろん、椅子、テーブルや調理器具の一切を市が無料で貸し出ししています。ここにキテネの関係者が集合し、買出しや会場設営から火熾し、調理に取り組みました。芋煮鍋は里芋を中心に野菜を入れて、山形風に牛肉をいっぱい盛り込んだ豪華版。

野川からの参加者も加え19人が全員そろったところで舌鼓を打ちました。本当に美味しい芋煮ができました。アルコールが進み、全員の自己紹介があり、中にはハーモニカやオカリナの披露まであり、その楽しいこと何にたとえましょうか。そうこうするうちに前年も好評だったカレーうどんが登場しました。芋煮の出汁がしっかり効いていました。締めでは校歌を高らかに斉唱、その歌声は木々にこだまし、感動の中に終了することができました。今回参加の5人の校友の方々は全員、稲門会会員になって頂き、再会を約して散会しました。

(野川・芋煮会参加者) [新入会員] 青木一夫、岩崎博重、大澤荘一、仲野勝、原田敦夫 [以下既存会員] 明石純一、芦沢友雄、潮田健太郎、大浦広巳、岡田文男、上條辰徳、河野瑠美、小森信敏、坪井貞光、舟久保賢一、柵木真也、松野宏、森本祐幸、涌田みちる

会員のエッセー

遣唐使・空海らの先人が交流した都、西安へー4回目の中国、地元党幹部とも交流 堀内 正之（昭46法）

昨夏、2週間ほど中国に行ってきました。4回目になるので今回は4泊5日で西安（昔の長安）の旅を入れました。遣唐使や遣隋使、空海や鑑真和尚といった人達が交流した「都」を見てみたかったからです。上海から高速鉄道で6時間、青森と博多くらいの距離です。ここを先人たちは歩いて行ったのですからその苦勞はいかばかりか……。



兵馬俑などの観光もさることながら、人の伝手もあったことからほぼ連日宴会。食材の豊富さと量の多さ。共産党のエライさんたちと酒を酌み交わしながら議論する機会も。英国の産業革命から明治維新への歴史の道のり、第1次大戦後の

ベルサイユ条約で常任理事国日本が提案した、白人による有色人種への差別を撤廃する案が賛成多数を得ながら米国の反対でポシャったこと、それが大東亜共栄圏構想につながるなどいろいろ議論しました。公害に悩んでいるせいか、水俣病の克服過程にも興味を示していました。

明治時代に西欧文明を取り入れ、中国の留学生が和製熟語を持ち帰ったこと。「中華人民共和国」の文字中、「中華」以外の「人民」「共和国」は和製熟語であることを話した時は、「とんでもない！」といった反応でした。「中国と日本でもう一度、大東亜共栄圏を作るアイデアはどうか？」と尋ねられたので「政権が変わったら賛成する」と答えたら一同大爆笑して大うけ。後で通訳に聞いたら、私は「共産党政権がかわったら」と言ったつもりなのに、「安倍政権が変わったら」と誤解したようでした。「あんたの前世はきっと中国人、それも山東省（酒飲みで有名な）に違いない！」と再び乾杯（カンペー）。楽しく西安の夜は更けていきました。近くて遠い国ですが、昔の、人情溢れる人たち、大家族制が残る意味懐かしさもある人々という感じがしました。

卒業50周年、夫婦そろってホームカミングデーに出席

松野 宏（昭43教育）

10月15日（日）、ホームカミングデーに行ってきました。25周年の時も参加しました。その時は50周年など想像だにできませんでしたが、今や73歳、とうとうその想像だにできなかった年齢がやってきました。

記念講堂が改築中で前年と同様に会場は大隈講堂でした。卒後45周年と50周年が大隈講堂入場の対象で、講堂の収容人数から参加希望者は抽選を経て座席指定券が送られるようになっています。外れた希望者には別途会場があり、パブリック・ビューイングの画面で参加できるようになっています。

ここで私の個人的な事情を言いますと、私と妻は大学では同時入学・卒業。学部（教育）が同じ、学科も同じ、クラスも同じでした。とって学生結婚ではありません。

出合いのきっかけを作ってくれた早稲田で記念の式典とあれば一も二もなく出なくては、それも大隈講堂で一緒でないと思わなしたと思ったのは当然のことです。しかし抽選でかつ申し込みは個別にという厳しいハードルを知って、こりゃダメだ、当たるわけがない、といったんは断念。とはいえ抽選

ならチャレンジだと思直し、申し込みました。それからがドラマです。届いた郵便に仰天、なんと二人当選、しかも並びの席じゃないですか。二人して目を疑い、どうしてと考えました。思いつくのは住所が同じで姓も同じということしかありません。きっと大学が気を利かせてくれたんだ、と心から感謝しました。

式典では鎌田総長はじめ50周年代表の挨拶や来賓の祝辞が式次第に従って進み、いよいよクライマックス、フィナーレの校歌斉唱です。そこで出たのが応援団長のひとこと。「当大学の校歌は全国あまねく知れ渡り、いまや第二の国歌になった」と宣った。いやー、傑作でしたね。会場も大笑い。そしてこの日の「都の西北」を特別の感慨を持って歌ったことは申すまでもありません。

その後、開催中の稲門祭でタップダンスをしている学生男女のグループを発見。そのグループの名前が「踏門会」。思わず笑ってしまいました。そば降る雨の中ではありませんが、いいホームカミングデーの一日でした。

(各同好会の代表者と連絡先)

同好会	代表者	電話番号	メールアドレス
囲碁	早川 政夫	042-487-9610	sazuhaya@jcom.home.ne.jp
カラオケ	中野 慶子	080-5174-1863	k_nakano_2648@ae.auone-net.jp
硬式テニス	坪井 貞光	042-481-6539	s.tsuboi@jcom.home.ne.jp
ゴルフ	安松 董矩	090-2300-9754	s.yasumatsu@jcom.home.ne.jp
社交ダンス	元木 勇	03-3300-4554	
太極拳	中野 完二	042-485-0523	
麻雀	濁川 寿次	042-483-6966	
	関口 憲三	042-486-7045	s.kenzo.2004@docomo.ne.jp
ワングル	石倉 毅	090-8587-1909	isicra996@jcom.zaq.ne.jp
	天野 凡子	042-480-2503	minako-amano@view.ocn.ne.jp
女性の会	山田 和子	042-488-0741	kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp
フラダンス	大谷 裕子	042-485-7489	wu5mh3@bma.biglobe.ne.jp
語ろうアースカフェ	山田 和子	042-488-0741	kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp
ボランティア ・ネットワーク	坊野 美代子	090-2174-0187	m-bouno@mti.biglobe.ne.jp

元気はつらつ同好会

**冬の身支度、秋の三田会懇親コンペに25人が参加
ゴルフ同好会代表 安松 董矩(昭37教育)**



11月9日(木)、第53回調布稲門会・三田会ゴルフ懇親会を上野原市レイク相模CCで開催しました。稲門会12人、三田会13人の計25人の参加となりました。天気予報では北寄りの風が強くなり寒くなるとのことで皆さん冬の身支度を用意していましたが、予想に反して快晴で風もなく、長袖のシャツ一枚でプレーできるほどの小春日和。楽しみにしていた紅葉は残念ながらピークを過ぎていました。

栄えある優勝はネット73で三田会の谷川彰さん、2位はネ

ット73.6で三田会の深田清之さん、3位はネット74で三田会の鶴賀政行さんと、上位3賞を三田会が独占、ネット上位5人の合計で競う団体戦はかなりの差をつけられ稲門会の敗戦。次回(2018年6月1日相武CC)はぜひ頑張りましょう。

◇新会員紹介(敬称略、氏名、卒年・学部)

[正会員] 原田敦夫(昭52法)、大澤荘一(昭44政経)、岩崎博重(昭47理工)、青木一夫(昭48政経)、仲野勝(昭48政経)

◇キテネ 次回のお知らせ

テーマ：心肺蘇生術、AEDの最新知識と実地訓練ほか

2月24日(土)13:00~16:00、調布消防署の協力で行います。詳しくは、本誌と一緒にご自宅に配布されたチラシをご覧ください。

平成29年度調布稲門会 年会費お支払いのお願い

会計担当坊野美代子

平成30年3月末で今期の会計年度は終了となりますので、年会費未納の方は至急お手配下さいますようお願い申し上げます。この紺碧第47号お届け時に郵便払込み票同封の方が未納会員です。

年会費振込先 口座名「調布稲門会」

ゆうちょ銀行 当座 00120-8-101851

みずほ銀行調布支店 普通 0997965



2日間の作業、いい汗かきました。今年も多額の寄付ができました。(福祉バザー会場で、2017年12月3日、五十嵐真会員撮影)

◇お知らせ(2018年調布稲門会総会)

ドリアン助川さんが講演者に決定!!

日時 5月19日(土) 15:00~16:30

場所 たづくり12階大会議場

講演者 **ドリアン助川氏**

演題『私たちはなぜ生まれてきたのか?小説「あん」でハンセン病快復者の人生を描いた意味』

<編集後記> 調布市の人口が予測より5年も早く23万人を突破。うち外国人は4,300人。報道によると都内の自治体中、転入が転出を上回る「超過数」の上位10傑に市部で唯一調布市が食い込んだとか。最近の調布駅前再開発の進展や素晴らしい新競技場の完成などが、「調布」の魅力アップにさらに繋がるかもしれません。飛田給のスポーツ施設群ではいまオリンピック競技などの国際大会・イベントが目白押しです。わが調布稲門会の同好会活動はそんな国際化・国際交流の波にいち早く乗っているようで、今号では巻頭で「国際交流」を特集しました。少しでも関心を持って頂けたら幸いです。(高原浩 記)

<p>深大寺そば 創業文久年間 ご宴会・俳句会・御法事 元祖 嶋田家 住所 〒182-0017 東京都調布市深大寺元町5-12-10 電話 042-482-3578 FAX 042-499-6655</p>	<p>早稲田大学校友会代議員 調布稲門会 会長 岡田文男 自宅 〒182-0011 東京都調布市深大寺北町6-8-13 電話 090-1819-5619 メールアドレス: fumi3248@akane.waseda.jp</p>	<p>林建設株式会社 取締役社長 林 清一 住所 〒182-8512 東京都調布市小島町2-56-3 電話 042-486-1111 FAX 042-486-1120</p>
<p>旭化成建材(株)指定工事店 外壁塗装・屋根塗装 株式会社住まいるスズキ 代表取締役 鈴木光孝 〒182-0023 東京都調布市染地3-5-65 電話 0120-080-242</p>	<p>株式会社パルコ 調布店 店長 田中雅之 住所 〒182-0026 東京都調布市小島町1-38-1 電話 042-489-5010 FAX 042-440-7665</p>	<p>イベント・パーティー (株)正直屋グループ 住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-7-10 電話 03-3853-1171 FAX 03-3853-1493 http://www.shojikiya.co.jp/</p>
<p>相続を争族にしないために、 公正証書遺言をお勧めします。 行政書士堀内総合法律事務所 行政書士 堀内正之 〒182-0035 東京都調布市上石原3-12-8 電話・FAX 042-499-1300 HPは「調布 行政書士 堀内」で検索</p>	<p>本格カレー&ダイニング M's Kitchen エムス キッチン 住所 〒182-0024 調布市布田4-2-7 ホテルノービス調布1階 電話 042-444-2185 調布駅1分 飯野病院西側 月曜日定休</p>	<p>宿泊・宴会・婚礼 調布クレストンホテル 住所 〒182-0026 調布市小島町1-38-1 調布バルコ8~10F 電話 042-489-5000 FAX 042-489-1106 http://www.crestonhotel.jp</p>
<p>早稲田大学商議員 調布稲門会 顧問 元木 勇 自宅 〒182-0003 調布市若葉町2-22-10 電話 03-3300-4554 FAX 03-3300-8728</p>	<p>新しい食文化を創る 株式会社山田屋本店 代表取締役社長 秋沢淳雄 住所 〒182-0024 東京都調布市布田2-1-1 電話 042-482-4585 FAX 042-482-4572 http://www.okomekan.net/</p>	<p>早稲田大学商議員 調布稲門会 顧問 椎原大典 自宅 〒182-0022 東京都調布市国領町8-2-9 ライフタウン国領1-426 電話・FAX 03-3430-4338</p>